

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	試合なし			開幕集中開催だったが、私たちは第1節の試合がないため第2節のみであった。 初戦は熊本教員蹴友団、前日のスカウティングでは堅守速攻を主体とするチームであることを確認した。 試合開始直後に得点することができたが、その後は堅い守備をこじ開けることができず後半へ。 後半、相手選手たちの速攻に手を焼き、そのまま失点。嫌なムードだった。
2	熊本県教員蹴友団	H	○2-1	幸運にもすぐさま得点することができたが、ヒヤヒヤする場面が多く、後味が良いとは言い難い内容となった。 南城市陸上競技場の芝生が最高の状態で整備されていたこと、会場設営等にかんがりの気配りが感じられたことがとても印象に残った。 沖縄県協会の皆様、海邦銀行SCの皆様、ご準備、運営いただきありがとうございました。素晴らしい環境でサッカーができました。ありがとうございました。
3	佐賀LIXIL	A	○2-0	春の行楽日和にふさわしい天候の下、11:00に試合がスタートした。 天候とは反対に荒れてしまったことが心残りである。このことは、相手チームスタッフの方とも共通理解を得ている。 会場設営、運営など、佐賀LIXILさんのチーム力の大きさを感じました。感謝いたします。 佐賀県協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンの皆様、準備、運営いただきありがとうございました。
4	ヴェロスクロノス都農	H	●0-2	連日の強風が奇跡的に収まり、HOMEで第4節を開催することができた。 前半の途中頃から相手ペースの試合展開となり、ハーフタイム直前に失点。本質の部分に焦点を当てながら練習に励みたい。 ヴェロスクロノス都農の皆さん、ありがとうございました。
5	沖縄SV	A	●0-3	快晴の下、素晴らしいピッチコンディションで試合をさせていただきました。 試合の立ち上がりから相手に押し込まれる時間が続き、防戦一方の展開となった。この試合での課題をチームで共有し、次節につなげたい。 沖縄SVさんは、地元の方々を招いてのイベント開催等を通じてサポーターが増加している印象が強く、九州リーグの認知度向上に大きく貢献していると感じる。 沖縄県協会の皆様、沖縄SVの皆様、ご準備、運営いただきありがとうございました。 ボールパーソンの沖SVU-15の皆さん、暑い中ありがとうございました。
6	FC中津	A	●1-2	からあげで有名な中津市での試合。移動距離370Km、バスで5時間半超、かかった時間は那覇よりも遠い。 東京-京都間が約370Km、「地域リーグ」の観点だけでは語れない九州リーグ。広範囲に活動する選手たち、取りまとめる事務局の方々への感謝の意を忘れてはいけません。 さて、試合については、またも簡単に失点を重ねて苦しい展開となってしまった。 課題がたくさんあり、ポジティブな働きかけができない状況。なんとかして勝点を積み上げるしかない。 大分県協会の皆様、FC中津の皆様、ご準備、運営いただきありがとうございました。 ボールパーソンの中津DREAM Field U-15の皆さん、暑い中ありがとうございました。
7	九州三菱自動車	H	△1-1 (PK4-3)	快晴の下でホーム戦が開催されました。 対戦相手の九州三菱自動車さんは若い選手が増えたことにより、以前よりパワーアップしている印象があり、慎重な試合展開が求められると指示し試合に挑みました。 前半に豪快なロングシュートを決められ、予想通り力強さを見せつけられた45分間でした。 後半に追いつきはしたものの逆転することができず、PK戦で勝点を分け合う試合展開でした。 九州三菱自動車さん、遠方までお越しいただきありがとうございました。また8月のアウェー戦もよろしくお祈りします。 県協会の関係者の皆様、審判団の皆様、ありがとうございました。
8	川副クラブ	A	●1-3	川副クラブさんとの試合は、前半の立ち上がりに簡単に失点し、追いかける展開となった。 追いかける展開が好きなのでもなく、楽しいわけでもないが、いつもこのような展開となっている。 前半のうちに追いついたものの、決め手を欠く内容に選手共々苦心している。 それを解決する魔法があれば覚えて使ってみたい、と感じる今日この頃であります。 川副クラブの皆様、佐賀県協会・審判団の皆様、準備運営等ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
9	ジェイリースFC	H	●0-1	ジェイリースFCさんとの試合は、押されながらも試合終盤まで我慢できていた。しかし、会心の一撃を浴びてしまい勝点を手にすることができなかった。モヤモヤ～。 少々故障気味ではありますが、残りの試合も無駄にしないよう頑張りたいと思っています。リーグ戦に出場できることが当たり前にならないように注意したい。 ジェイリースFCの皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。 鹿児島県協会・審判団の皆様、NIFS KANOYA FC 2ndの皆さん、準備運営等ありがとうございました。
10	日本製鉄大分	H	中止	前期の締めくくりは、海邦銀行SCさんとの対戦でした。「勝点3を持ち帰ること」だけを意識させ、試合に入った。 珍しく、前半の序盤に2-0とリードし、多少のゆとりができてしまったことで、その後の試合展開が苦しくなったことが反省すべき点である。
11	海邦銀行SC	A	○3-0	ジェイリースFC、FC中津、日本製鉄大分の皆様、大分県協会・審判団の皆様、準備・運営ありがとうございました。 リーグ事務局の皆様、各県協会の皆様、リーグ所属チームの皆様、後期リーグもよろしくお願いたします。
12	試合なし			前半、数少ないチャンスから得点することができ、その後は均衡した試合展開でした。 後半には、あわや失点という場面でロールバックの笛が鳴り、失点を免れた場面もありました。今回は運よく勝点3を得ることができた、という印象です。
13	熊本県教員蹴友団	A	○1-0	将来の夢や目標に向かって頑張っている若い世代の公式戦でこのようなことが起こらないよう、今後も審判団とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。 ヴェロスクロノスの皆様、宮崎県協会・審判団の皆様、準備・運営ありがとうございました。
14	佐賀LIXIL	H	●1-4	佐賀LIXILさんの攻撃力に屈する内容でした。 チームの課題となるのは失点を減らすこと、得点機会を多くつくることであり、日頃のトレーニングから意識していることです。 選手たちの意識も変わりつつあり、少しずつですが改善傾向にあることも実感できます。 攻守両面において、個の能力を上げることに組みながら、チームとして成熟させたいと思います。 佐賀LIXILさんの優れた選手(22、24)のような高い技術レベルで力強くプレーできる選手を育成しなければ、リーグ上位では通用しないことを改めて感じた試合でした。 鹿児島県協会、審判団、試合運営に関わった自チームの選手たちに感謝申し上げます。